

第3次熊本市歯科保健基本計画 令和3年度の進捗と令和4年度の取組について

基本方針に基づいて施策を推進

- 1 各ライフステージにおける対策の推進
- 2 歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり

「各ライフステージにおける対策の推進」について

胎児期及び妊娠期、乳幼児期 指標1～8

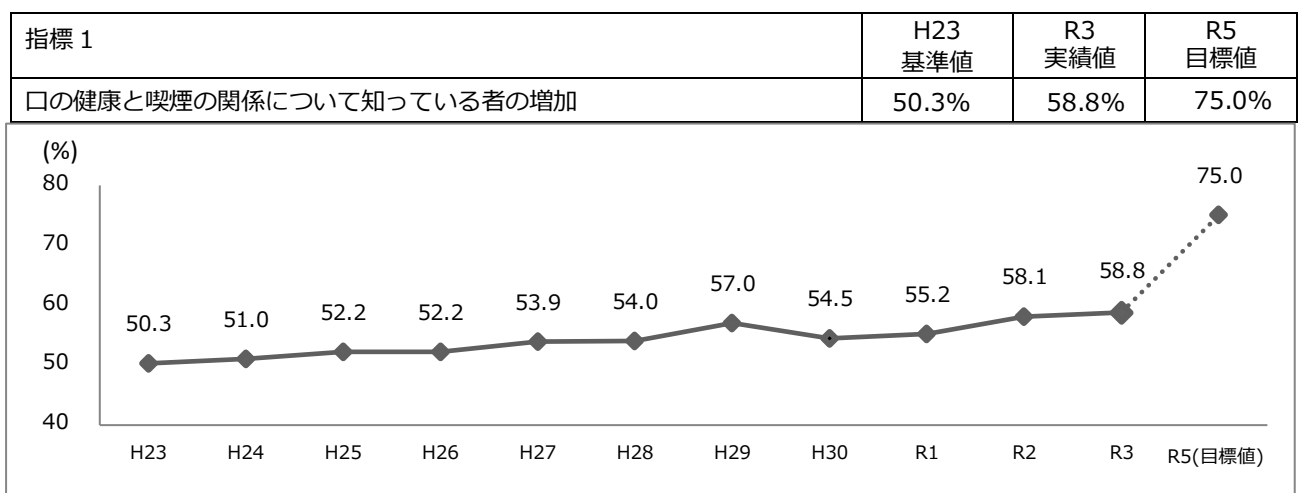
【目標】

胎児期及び妊娠期：口腔の健康を通して、健やかな妊娠生活を支援する

乳幼児期：乳幼児の歯と口腔の健やかな発達と楽しい育児を支援する

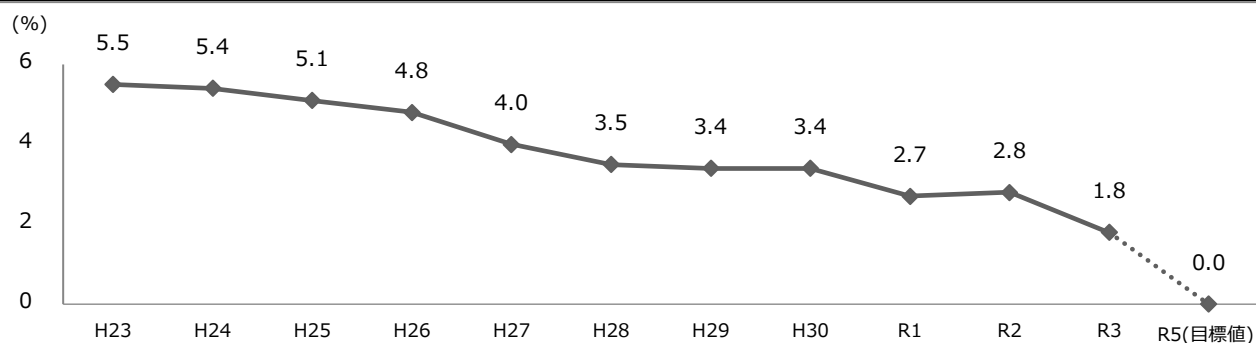
【現状と課題】

- (1) 指標1「口の健康と喫煙の関係について知っている者」は年々増加傾向にあり、指標2「妊娠中の喫煙」についても順調に減少している。指標3「妊娠中に歯科健診・指導を受ける者」は、コロナ禍の影響で歯科受診を躊躇される方がおり近年減少傾向にあったが、増加に転じた。生まれてくる子どもにむし歯原因菌を感染させないためにも妊娠中に歯科健診を受けるよう啓発を強化する必要がある。
- (2) 指標4「1歳6か月児でのむし歯のない者」、指標5「3歳児でのむし歯のない者」は増加しているものの、全国と比較すると少ない状況であり、政令指定都市の中ではともにワースト1位である。
- (3) 指標6「3歳児での不正咬合等が認められる者」は増加している。約2割の子どもに過蓋咬合や上顎前突がみられた。上顎前突の子ども63%に指しゃぶりがみられた。
- (4) 指標8「フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園」は新規に開始した園があった一方、コロナ禍で中止する園があり、ほぼ横ばいの状況である。新しい生活様式に即した歯のみがき方やフッ化物洗口の方法について、情報を提供していく必要がある。



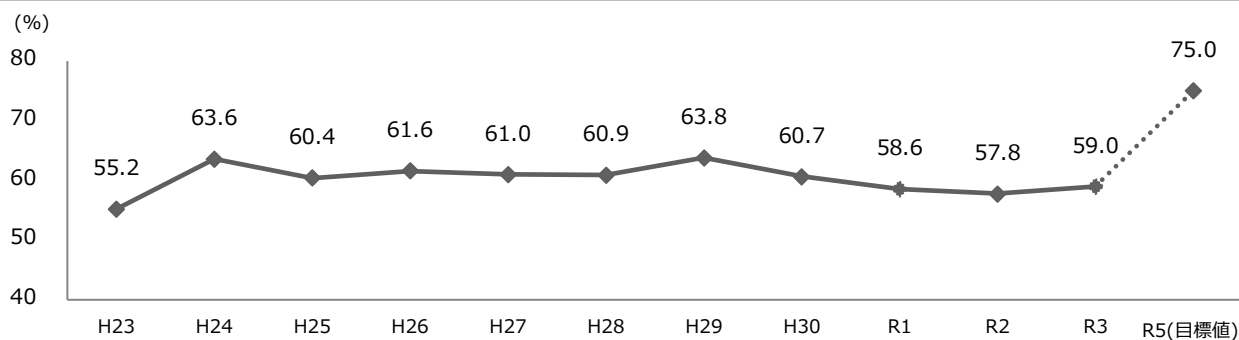
出典：【熊本市】妊婦歯科健診結果

指標 2	H23 基準値	R3 実績値	R5 目標値
妊娠中の喫煙をなくす	5.5%	1.8%	0.0%



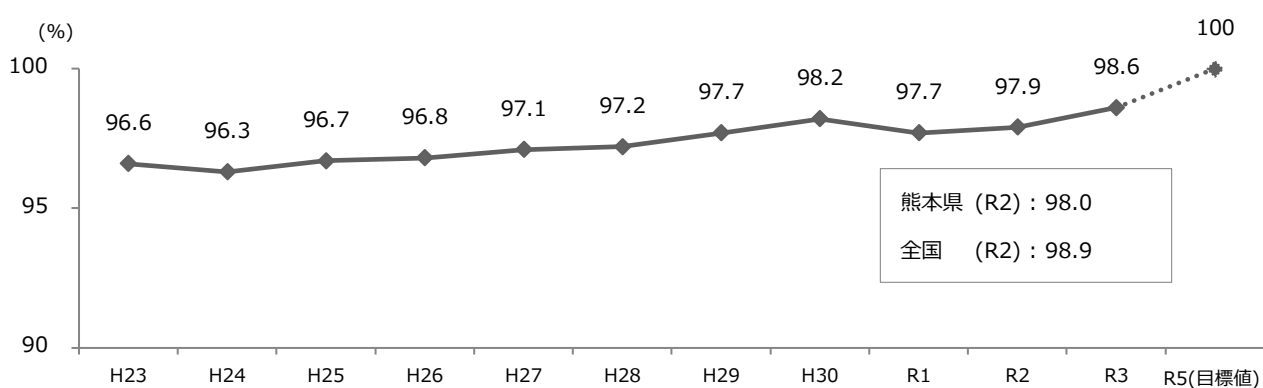
出典：【熊本市】親子（母子）健康手帳交付時の問診項目（健康くまもと 21 の指標データ）

指標 3	H23 基準値	R3 実績値	R5 目標値
妊娠中に歯科健診・指導を受ける者の増加	55.2%	59.0%	75.0%



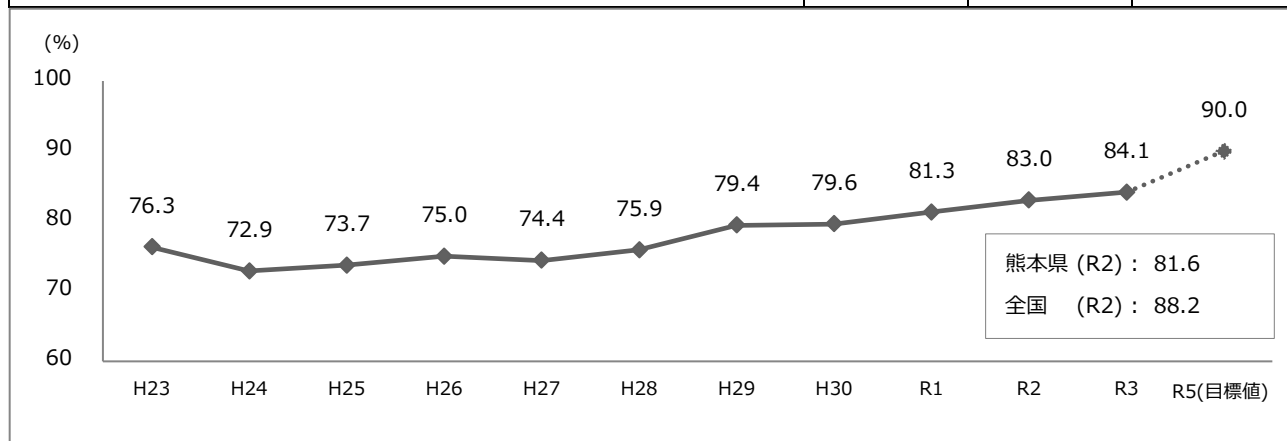
出典：【熊本市】妊婦歯科健診結果

指標 4	H23 基準値	R3 実績値	R5 目標値
1歳6か月児でのむし歯のない者の増加	96.6%	98.6%	100.0%



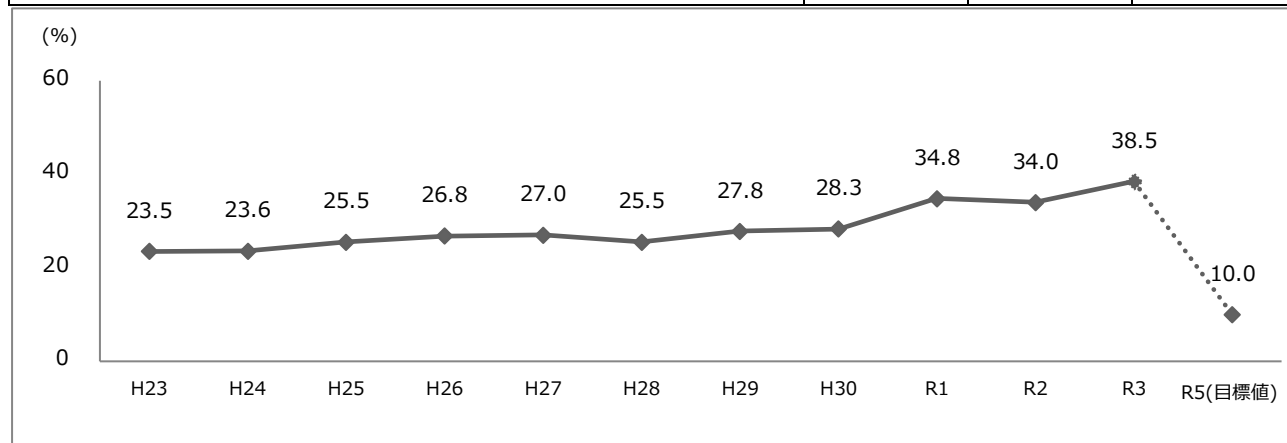
出典：【熊本市】1歳6か月児歯科健診結果 【全国・熊本県】熊本県歯科保健状況調査

指標 5	H23 基準値	R3 実績値	R5 目標値
3歳児でのむし歯のない者の増加	76.3%	84.1%	90.0%



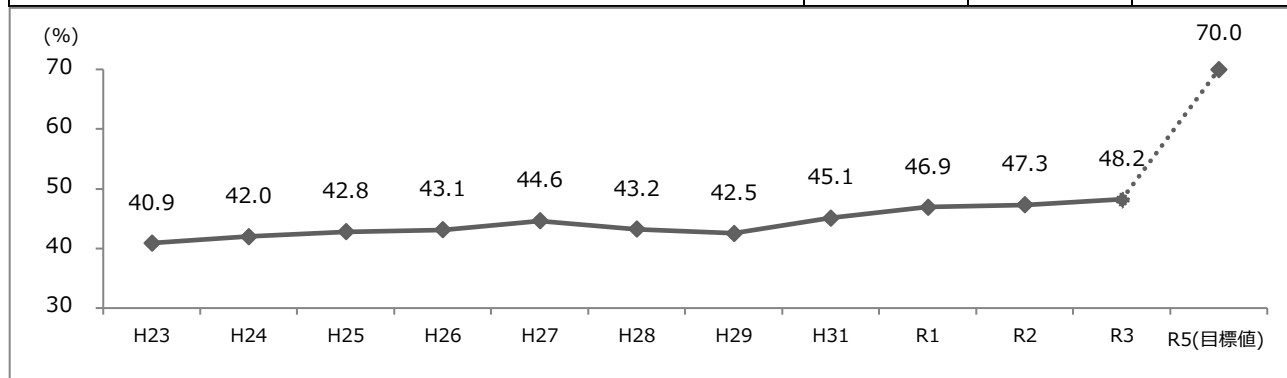
出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果 【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

指標 6	H23 基準値	R3 実績値	R5 目標値
3歳児での不正咬合等が認められる者の減少	23.5%	38.5%	10.0%



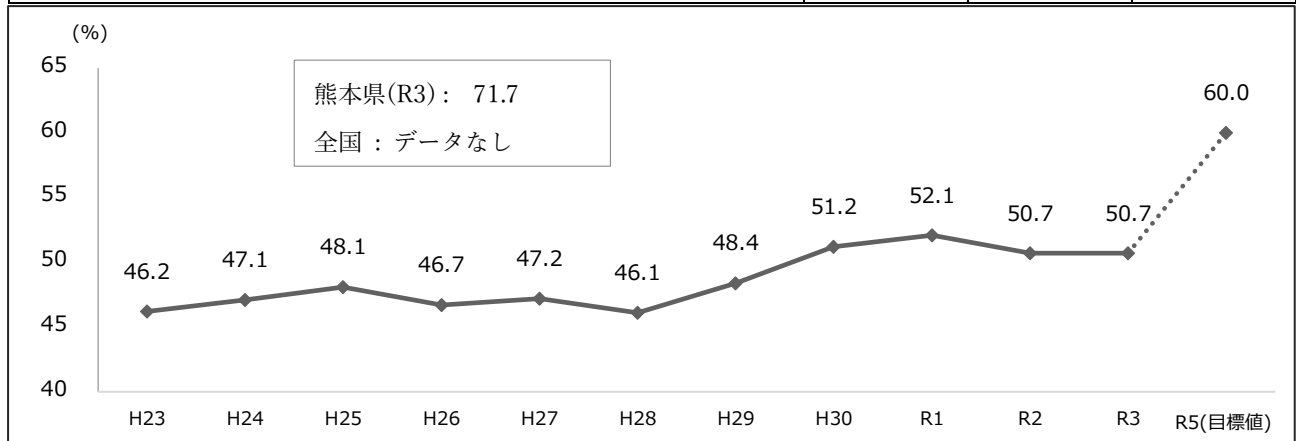
出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果 【熊本県・全国】熊本県歯科保健状況調査

指標 7	H23 基準値	R3 実績値	R5 目標値
3歳までに2回以上フッ化物塗布を受けたことがある者の増加	40.9%	48.2%	70.0%



出典：【熊本市】3歳児歯科健診結果

指標 8	H23 基準値	R3 実績値	R5 目標値
フッ化物洗口を実施する認可保育園・幼稚園の増加	46.2%	50.7%	60.0%



出典：【熊本市】フッ化物洗口支援事業【熊本県】熊本県歯科保健状況調査

【令和3年度の進捗】

《 行政 》

	主な取組	令和3年度 内容	実績	担当課
1	妊婦歯科健診・相談事業	【子育て世代包括支援センター事業】 母子健康手帳交付時の歯科健診、歯科相談を実施 相談日 239回 1,786人 相談日以外 151回 258人	390回 2,044人	各区 保健子ども課 子ども政策課
2	歯科健康相談	妊婦に対して歯科健康相談を実施	13回 13人	各区 保健子ども課
3	1歳6か月児 歯科健診 フッ化物体験塗布	・1歳6か月児健康診査において歯科健診、歯科健康相談を実施 ・フッ化物体験塗布(希望者)を実施し、定期的な歯科健診の 勧奨 体験塗布者: 5,209人 (92.1%) 【参考】1歳6か月児健診時に既にフッ化物塗布を経験して いる者 906人 (16.0%)	238回 5,656人	各区 保健子ども課
4	1歳6か月児 歯科健診 事後フォロー	1歳6か月児健診時に初期むし歯があった児(保護者)に対し、受診3か月～6か月後に電話等によるフォローを実施	71回 55人	南区 保健子ども課
5	3歳児歯科健診	3歳児健診において歯科健診、歯科健康相談を実施	223回 5,991人	各区 保健子ども課
6	乳幼児歯科 健康教育	「離乳食講座」や地域の子育てサークル等においてむし歯予防講話等を実施	27回 150組	各区 保健子ども課
7	乳幼児歯科相談 (歯科健康相談)	【子育て世代包括支援センター事業】 区役所や子育てサークル等において歯科健康相談を実施	93回 128人	各区 保健子ども課
8	乳幼児ママ パパ教室	地域子育てサークル等の乳幼児と保護者に対し、口腔機能・ 歯の健康に関する啓発を実施 (コロナ禍のため中止: 1件)	1回 7組	子ども支援課
9	出前講座	生涯学習を通した歯と口腔の健康づくりを実施 講座: 「食べない時の口から支援～幼児ベロタッチ健康法」 実施団体: 口からの健康づくり歯っぴーかむカム	10回 66人	生涯学習課
10	保育所等における 歯科健康教育	対象: 幼児、保護者等 内容: 歯科講話、歯みがき指導やフッ化物洗口指導を実施	78施設 84回 4,097人	各区 保健子ども課

11	フッ化物洗口支援事業	フッ化物洗口の実施を希望する保育所等に対する洗口剤等の配布及び、円滑な実施に係る技術支援の実施。 園長会等を通じて、フッ化物洗口支援事業についての周知と、子どもの歯と口腔の健康づくりに関する情報を提供。 【公立保育所・幼稚園】 公立保育所（19 施設）、幼稚園（6 施設）において 4・5 歳児クラスを対象にフッ化物洗口を実施	111 施設 ※新規開始 3 施設	各区 保健子ども課 健康づくり 推進課 保育幼稚園課 健康教育課
12	フッ化物洗口支援事業説明会	希望する施設や保護者に対するフッ化物洗口の効果や安全性等について説明。「歯っぴー39 チャレンジリーフレット」の配付と、本市の子ども歯と口腔の健康づくりに関する情報の提供。	職員 6 施設 保護者・園児 6 施設	各区 保健子ども課
13	子育てほっとステーション全体研修会	歯科医師を講師に「歯と口腔の健康づくり～噛む事で改善出来る 5 つの事～」と題して研修会を実施 対象：子育て支援センター・児童館・子育てひろば職員・各区保健師	1 回 38 名	子ども支援課
14	子育て支援センターセンター歯科講話	子育て支援センターにて、「歯のお話」を実施。 講師は各区役所保健子ども課歯科衛生士。 講話のみ、短時間で実施。	1 回 3 組	子ども支援課
15	保育所等における歯科健康診断	保育所・幼稚園等において、園歯科医師による定期歯科健康診断を年 1 回実施	25 施設	保育幼稚園課 健康教育課
16	子ども医療費助成制度	中学 3 年生までを対象に、保険診療による医療費を助成し、子育て家庭の経済的負担を軽減することで、子育てしやすい環境を整備 歯科（外来・調剤）自己負担額 0 歳～4 歳 無料 5 歳～小 6 700 円（1 か月あたり 1 医療機関） 中 1～中 3 1,200 円（ " ）	実施	子ども支援課
17	ホームページやパネル等を活用した啓発	乳幼児期のむし歯予防について啓発記事を掲載	実施	各区 保健子ども課

《 関係団体・機関 》

	令和 3 年度 内容	実績	団体
1	妊婦に対して、歯科健診、歯科健康相談（禁煙指導、受動喫煙の害等）を実施。	1,537 人	熊本市 歯科医師会
2	【歯っぴー39 チャレンジリーフレットの配布】 7 ヶ月児健診時に配布し啓発を実施	実施	熊本市 医師会
3	「喫煙や歯科・口腔ケア」に関する内容を含む研修会を、妊娠期に関わる看護師・助産師・養護教諭を対象に実施	16 人	熊本県 看護協会

4	市町村歯科衛生士研修会を「子どもの歯と口の健康づくり」をテーマにオンライン（Zoom）にて2回開催 【1回目：1/30】 「熊本県における乳幼児の歯科保健について」 熊本県健康づくり推進課 「子どものお口の健康づくりと地域住民の健康づくり」 講師：梅花女子大学教授 歯科医師 井下 英二氏 【2回目：2/27】 「子どもたちの健口から始まる全身の健康」 講師：福岡歯科大学准教授 歯科医師 岡 暁子氏 「乳幼児期における歯科保健指導のポイント」 講師：熊本県歯科衛生士会 逢坂 佐恵子氏	91人	熊本県 歯科衛生士 会
5	乳幼児期のむし歯予防に関する普及啓発を実施 制作したチラシ（動画二次元バーコード付き）を健康くまもと21推進会議団体に配布を依頼。子どものむし歯予防に関する普及啓発を行った。	5団体 1,330枚	熊本県 歯科衛生士 会
6	園歯科医の把握とフッ化物洗口への協力依頼	全会員	熊本市 歯科医師会
7	東部ブロック保育士研修会（10/28）オンライン開催 演題「お口の中の全身の健康とのかかわり・お口の中から見た乳幼児期の発達」 講師：城南歯科医院 宮本 格尚氏／宮本 美砂氏	18人	熊本市 保育園連盟
8	南部ブロック保育士会給食部合同研修会（6/16）オンライン開催 演題：「食事や口の発達など気になる子どもの課題」 講師：一般社団法人ゆこり代表理事 言語聴覚士 下田 祐輝氏	78人	
9	【フッ化物洗口の推進】 設置者・園長会等でフッ化物洗口を始めるよう伝える。 フッ化物洗口に取り組んでいる園は5園（42会員中） 【熊本県歯科保健状況調査への協力】	全施設	熊本市 私立幼稚園 ・認定こ ども園協 会
10	【おやこの食育教室】（1/19） 黒髪校区の親子を対象に、食育ランチョンマットを使用し主食・主菜・副菜を揃えることの大切さについて個別訪問で伝えた。	親子 20組	熊本市 食生活改善 推進員協 議会
11	【子どもの健康・食生活の支援活動】 子育て世代の地域住民へ、手作りおやつレシピ（3種）を配付し、作り方、幼児にとってのおやつ目的、おやつ適切な量や食べ方をお話した	684回 1,012人	
12	子育てサークル・保育所等において、むし歯予防教室における歯科啓発を実施	7回 169人	熊本市 8020健康 づくりの会

【令和4年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和4年度 予定	課・団体
1	母子手帳交付時の歯科健診、歯科相談を継続実施 妊娠期における口腔衛生等について、区のホームページ等を活用し啓発を行う。	各区 保健子ども課
2	妊婦歯科健診について受診勧奨し、歯科健診及び個別指導を継続実施する。 協力歯科医院において、歯科健診を受診した妊婦に対して「子どものむし歯予防」に関するチラシを配付し、生まれてくる赤ちゃんへのむし歯原因菌の感染について個別指導を行う。 妊婦のパートナーに対する「Happy life（無料歯科健診券付き）啓発カード」の配付に協力し、無料歯科健診を実施	熊本市 歯科医師会
3	熊本県栄養士会情報誌（毎年1回発行）にて、「歯と栄養」をテーマとして作成し、市民へ情報を発信する。子どものむし歯の現状や乳幼児期の食事のポイントやレシピを掲載予定。	熊本県 栄養士会

4	子どものむし歯予防に関する啓発動画を掲載したチラシ等を活用し、様々な団体に配付を依頼し、引き続き普及啓発を行う。	熊本県 歯科衛生士会
5	【1歳6か月児歯科健診事後フォロー】 1歳6か月児健診時に初期むし歯があった児(保護者)に対し、受診3か月～6か月後に電話等によるフォローを実施。	各区 保健子ども課
6	【歯っぴー39 チャレンジの推進】 関係各課及び関係組織と協力し、熊本市の子どもにむし歯が多い現状を地域住民に周知し、歯と口の健康づくりに対する関心を高めるとともに、「歯っぴー39 チャレンジリーフレット」及び「Happy life（無料歯科健診券付き）啓発カード」を広く配布し、定期的な歯科健診の受診勧奨を図る。	各区 保健子ども課 健康づくり 推進課
7	庁内各課および関係機関が実施する講座について、一覧で周知し、生涯学習を通して歯と口腔の健康づくりに取り組む	生涯学習課
8	【フッ化物洗口の推進】 公立保育所、幼稚園において、フッ化物洗口を実施。 市内対象施設に対して、関係各課及び関係団体と連携協力し、フッ化物洗口支援事業について周知徹底を図る。 熊本県歯科保健状況調査における歯科健康診断の結果を各施設に報告し、フッ化物洗口の効果等について情報提供し、新規開始施設の拡大につなげる	健康づくり 推進課 保育幼稚園課 健康教育課
9	【フッ化物洗口の推進】 設置者・園長研修でフッ化物洗口を始めるよう伝えた（R4年6月9日実施）。 第2さくら体育幼稚園ではフッ化物洗口を年長児は継続し、年中児も開始した。現在実施中の他4園とも連携し、設置者・園長会等を利用してフッ化物洗口を熊本市内の幼稚園・認定こども園へ「フッ化物の効果は小学校になってから」と「フッ化物洗口は手軽にできること」を添えて呼びかける。	熊本市 私立幼稚園・認定こども園協会

【今後の方向性】

- (1) 子どものむし歯有病状況の改善を図るため、「子どもに関わるあらゆる場面と人にターゲットを絞った啓発の強化」と「フッ化物を応用したむし歯予防事業の充実」に関係機関・団体と行政が協働で取り組む。
- (2) 家族で定期歯科健診の受診を心掛けるなど保護者自身の歯科保健行動の向上を図るとともに、幼児の健全な発育とむし歯予防の観点から、規則正しい生活習慣や食習慣、保護者による毎日の仕上げ磨きの徹底など保健指導内容の充実を図る。

学童期、中・高生期 指標 9～12

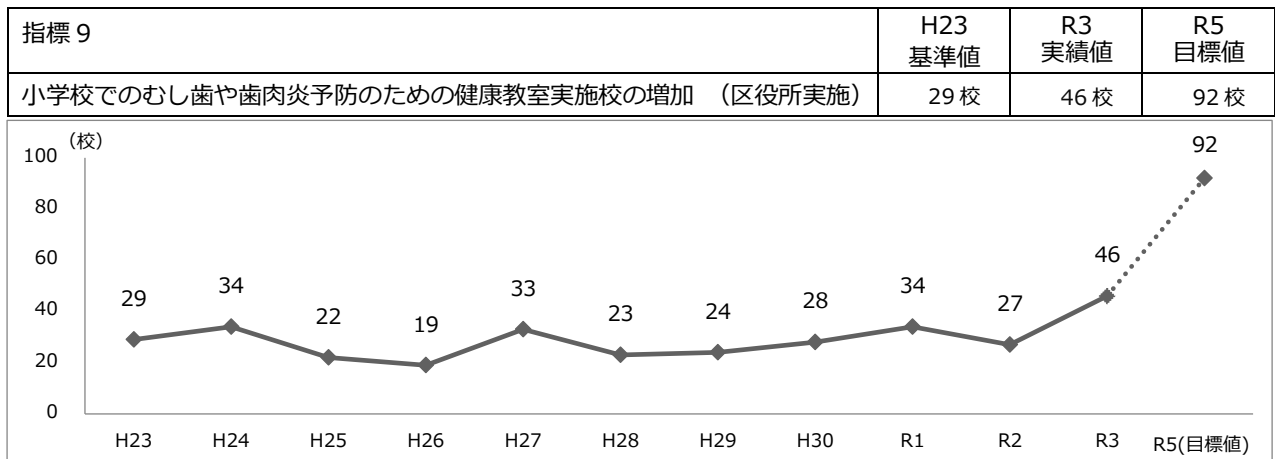
【目標】

学 童 期：乳歯と永久歯の生え変わりが始まる時期であり、自分の口にあった歯みがき習慣を身につけむし歯や歯肉炎のない楽しい学校生活を支援する

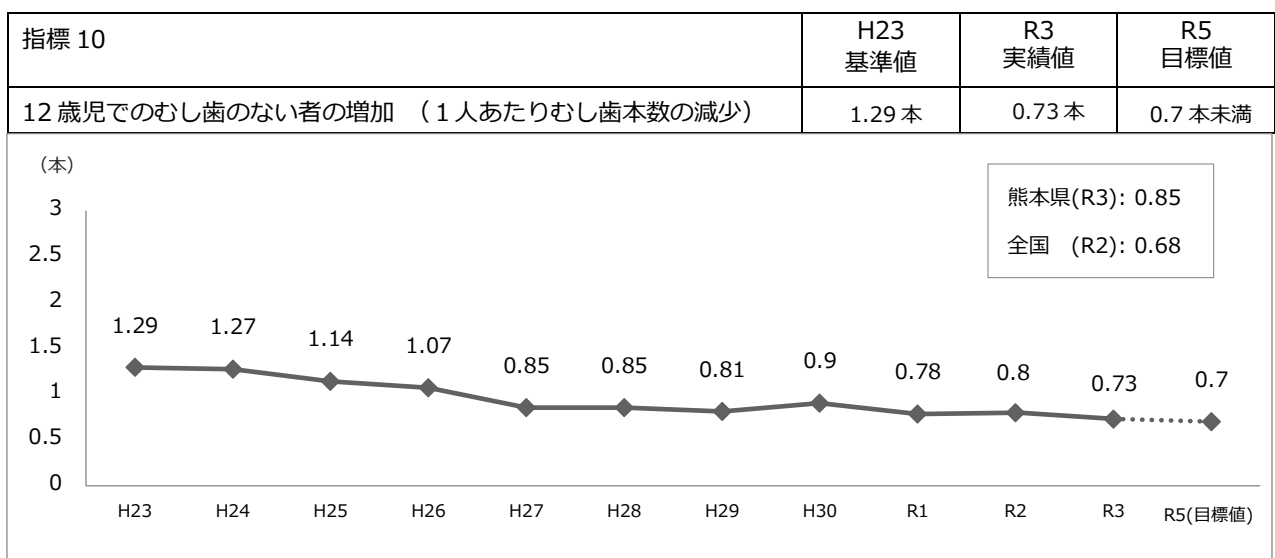
中・高生期：生活習慣の改善によりむし歯や歯肉炎を減少させることができる中高生が増加するよう支援する

【現状と課題】

- (1) 指標 10「12 歳児でのむし歯のない者（1 人あたりむし歯本数）」の増加については、ゆるやかに減少しているが、全国と比較すると多い状況である。全小学校におけるフッ化物洗口事業の実施を目指していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施校は46校であった。
- (2) 指標 11「中学生における歯肉に炎症所見を有する者」に令和3年度増減はなく、指標 12「高校生における歯肉に炎症所見を有する者」は減少した。マスク生活が続く児童・生徒に対して、新しい生活様式に対応した口腔ケアについて啓発する必要がある。

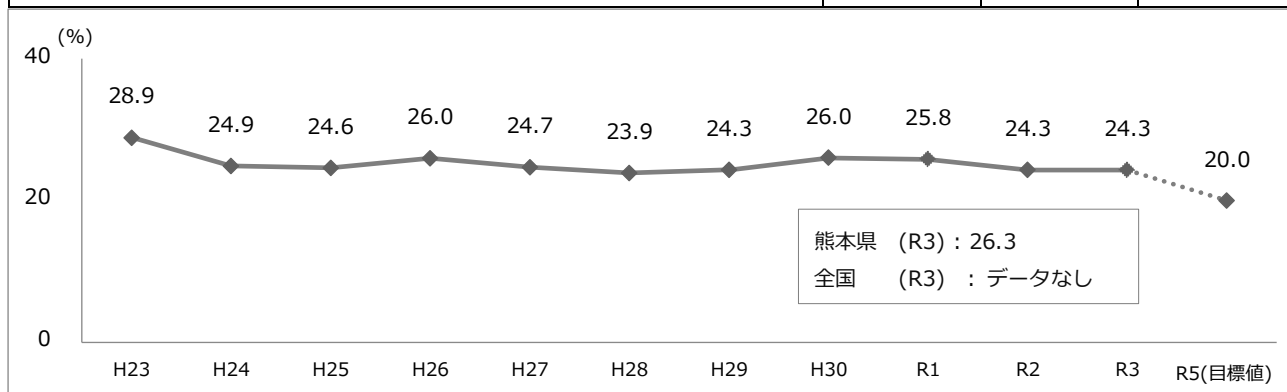


出典：健康くまもと 21 歯科保健部会資料



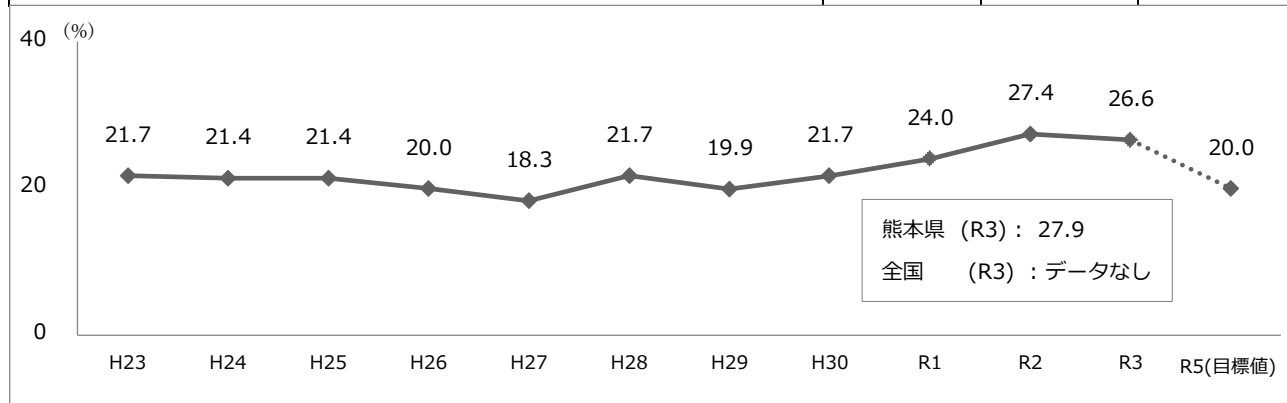
出典：熊本県歯科保健状況調査

指標 11	H23 基準値	R3 実績値	R5 目標値
中学生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	28.9%	24.3%	20.0%



出典：熊本県歯科保健状況調査

指標 12	H23 基準値	R3 実績値	R5 目標値
高校生における歯肉に炎症所見を有する者の減少	21.7%	26.6%	20.0%



出典：熊本県歯科保健状況調査

【令和3年度の進捗】

《 行政 》

	主な取組	令和3年度 内容	実績	担当課
1	歯科健康教育	小中学生を対象としたむし歯、歯肉炎予防教育を実施 小学校：46校 57回 4,012人 中学校：2校 2回 231人	48校 59回 4,243人	各区 保健子ども課
		ロアッソ熊本サッカー教室（11/14）において、小学1～3年生を対象にむし歯予防教室を実施	1回 31人	東区 保健子ども課
2	歯科健康相談	小中学生や保護者に対して実施 小学生：4回 4人 中高生：2回 2人	6回 6人	
3	学校保健委員会	小中学校からの依頼により学校保健委員会において、学校や家庭における歯と口腔の健康づくりに関する講話や取組等の助言等を実施 小学校：1校 中学校：1校	2校	南区 保健子ども課
4	歯科検診	・就学時歯科検診、定期歯科健康診断の実施及び歯科受診勧奨 ・熊本県歯科保健状況調査の協力 ・歯科保健指導・歯みがき指導や保健だより等による啓発 ※小学校：92校 中学校：42校 高校：2校 特別支援学校：2校	138校	健康教育課
5	歯みがき巡回指導	歯科医師・歯科衛生士による正しい歯みがきの定着と歯と口腔の健康づくりを推進するため専門的な指導を実施 主催：熊本市学校保健会・熊本市歯科医師会 協力：熊本市教育委員会・熊本県歯科衛生士会熊本市支部 対象：小学3年生及び特別支援学級	中止 （コロナ）	健康教育課
6	小学校フッ化物洗口事業	むし歯予防及び歯と口腔の健全な育成の支援のため、週1回法によるフッ化物洗口を小学校において実施	46校 ※新規開始校 10校	健康づくり 推進課 健康教育課 各区 保健子ども課
		フッ化物洗口事業説明会の開催 各学校（教職員説明会含）：58校 62回 保護者：10校 11回	58校 延 73回	
7	子ども医療費助成制度	中学3年生までを対象に、保険診療による医療費を助成し、子育て家庭の経済的負担を軽減することで、子育てしやすい環境を整備 歯科（外来・調剤）自己負担額 0歳～4歳 無料 5歳～小6 700円（1か月あたり 1医療機関） 中1～中3 1,200円（ " " ）	実施	子ども支援課

◆小学校におけるフッ化物洗口の進捗状況と実施計画

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
実 施 校 数	モデル事業										予定
	1	3	7	7	9	10	21	41	36	46	92
											全校実施
							22.8%	44.6%	39.1%	50.0%	100%

※令和3年度はコロナ禍のため92校予定のところ46校実施

《 関係団体・機関 》

	令和3年度 内容	実績	団体
1	【歯みがき巡回指導】行政（教育委員会）と連携し実施 ・小学校3年生と特別支援学級の児童を対象に、歯みがき実践指導等を行う。	中止 (コロナ)	熊本市 歯科医師会 熊本県 歯科衛生士会
2	・小学校でのフッ化物洗口事業に協力。学校歯科医による洗口指示書の作成 指示書作成：53校	実施	熊本市 歯科医師会
3	【薬物乱用防止教室】学校薬剤師が、口腔内への影響について説明 【フッ化物洗口事業への協力】学校薬剤師が支援・相談を受ける。	各担当学校 で実施	熊本市 薬剤師会
4	【歯・口の保健指導】 ・5年:全国歯みがき大会に参加 ・他学年は学級で養護教諭が作成した資料等をもとに、担任による発達段階に応じた指導 ・養護教諭による指導（動画や模型によるブラッシング・感染症対策の指導） 【給食後の歯みがき】 ・歯みがき時の感染症対策の徹底（養護教諭が各学級で指導） ・給食後の歯みがきを毎日実施（感染予防の歯みがき） ・児童保健委員会による歯みがきの啓発 【家庭での歯みがきの意識づけ】 ・歯みがきカレンダーを活用した親子での歯みがきの啓発（年3回） ・歯みがき状況の確認 ・子どもの頑張りを伝える取組 【フッ化物洗口】 ・再開を決定していたが、新型コロナウイルス感染症の流行により延期 【なかよし歯みがき】 ・縦割り班ごとに、染め出し・歯みがきを計画していたが、新型コロナウイルス感染症の流行により延期	実施 熊本市立 山本小 全児童81人	熊本市小学校 校長会
5	【歯と口腔の健康づくりの啓発】 小学校における歯みがき教室において、歯科疾患予防の取組に関する支援を実施 【小学校におけるフッ化物洗口事業の受託と支援】 小学校におけるフッ化物洗口事業の取組に協力し、学童期におけるむし歯予防の推進を支援	6回 558人 ※フッ化物洗 口支援 42校	熊本市 8020健康 づくりの会

【令和4年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和4年度 予定	課・団体
1	・コロナ禍における小学校フッ化物洗口事業の取組や支援を関係課と調整し、教育委員会・学校・学校歯科医と連携を強化し推進する ・フッ化物洗口説明用動画を活用し、二次元コードを申込書に添付し対応した ・学校安全安心メールを活用した希望調査が実施できるよう開始した。	健康づくり推進課 健康教育課 各区 保健子ども課
2	歯科医師・歯科衛生士による正しい歯みがきの定着と歯と口腔の健康づくりを推進するため専門的な指導を実施。今年度はコロナ禍対応でDVDを作成して実施。 主催：熊本市学校保健会・熊本市歯科医師会 協力：熊本市教育委員会・熊本県歯科衛生士会熊本市支部 対象：小学3年生及び特別支援学級	熊本市 歯科医師会 熊本県 歯科衛生士会 健康教育課
3	熊本県栄養士会情報誌（毎年1回発行）にて、「歯と栄養」をテーマとして作成し、市民へ情報を発信する。子どものむし歯の現状や学童期～成人期の食事のポイントやレシピを掲載予定。【再掲】	熊本県 栄養士会
4	・就学時歯科検診、定期歯科健康診断の実施及び歯科受診勧奨 ・熊本県歯科保健状況調査の協力 ・歯科保健指導・歯みがき指導や保健だより等による啓発	健康教育課

5	【薬物乱用防止教室】 学校薬剤師が、口腔への影響について説明 【フッ化物洗口事業への協力】 開始に向けての相談を受け支援	熊本市 薬剤師会
6	・歯及び口腔の健康づくりに関する例年の取組を継続 ・フッ化物洗口の再開	熊本市小学校 校長会
7	【歯と口腔の健康づくりの啓発】 小中学校における歯みがき教室において、歯科疾患予防の取組に関する支援を実施 【小学校におけるフッ化物洗口事業の受託と支援】 小学校におけるフッ化物洗口事業の取組に協力し、学童期におけるむし歯予防の推進を継続して支援	熊本市 8020 健康 づくりの会
8	子ども医療費助成制度 0 歳から中学 3 年生までを対象に、保険診療による医療費を助成し、子育て家庭の経済的負担を軽減することで、子育てしやすい環境を整備	子ども支援課

【今後の方向性】

- (1) フッ化物洗口事業の全小学校 92 校の実施に向け、実施方法や従事する人材の確保を図る。
- (2) 学校歯科医等と連携し、歯みがきの習慣化や歯間清掃用具使用の効果など、新しい生活様式の中でも歯科保健指導の充実を図り、児童・生徒の健全な口腔機能の育成を支援する。

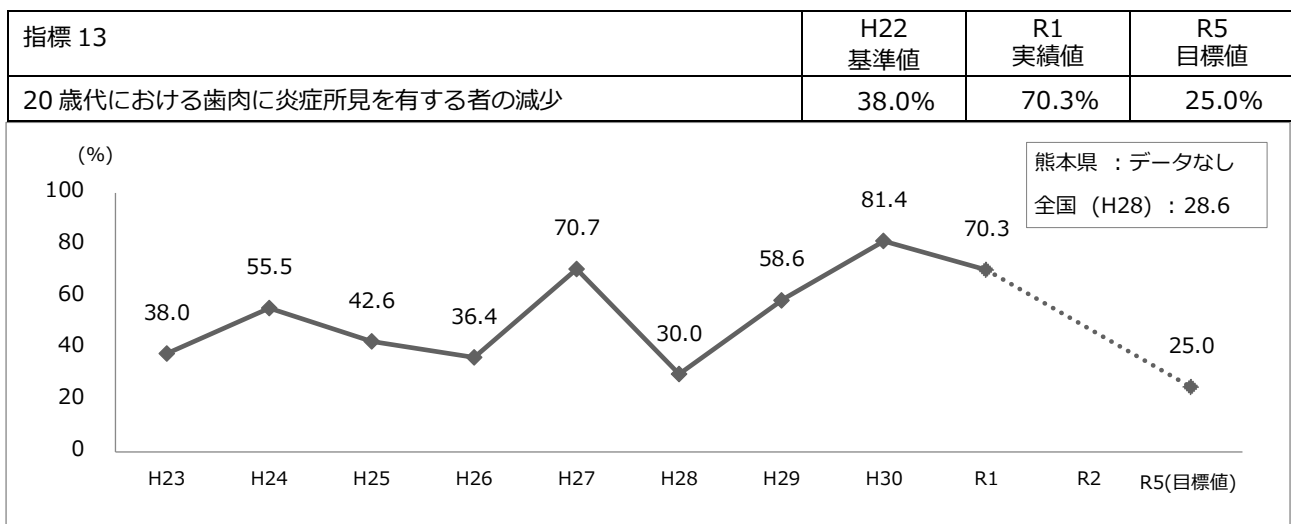
成人期 指標 13～22

【目標】

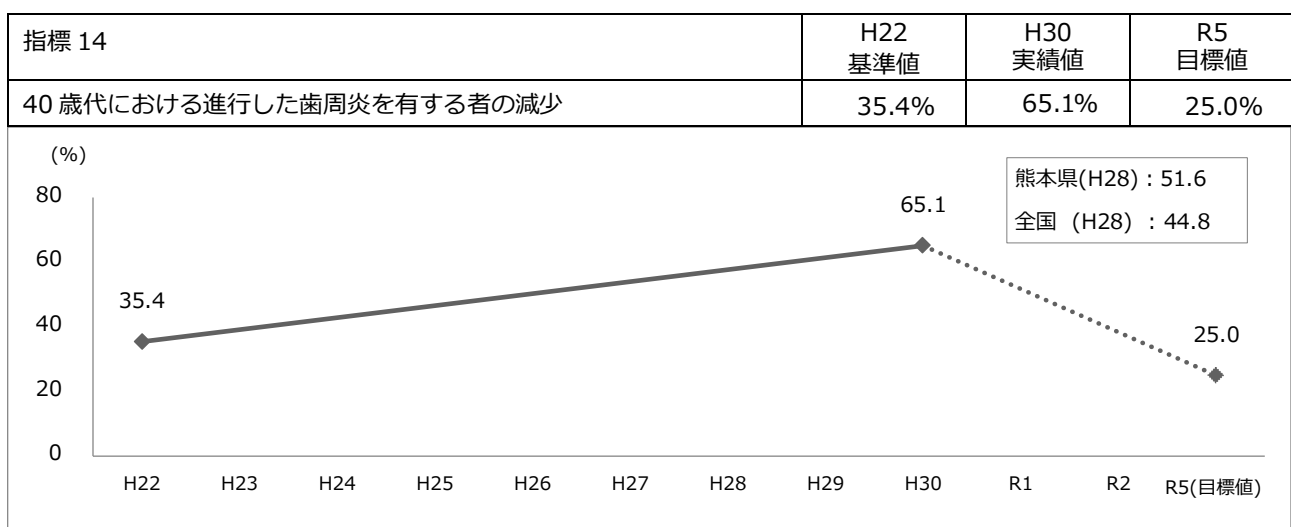
社会生活を送る上で、歯と口腔の健康づくりが重要であることを知り、自分に合った口腔ケアを獲得できるように支援する。

【現状と課題】

- (1) 指標 13「20 歳代における歯肉に炎症所見を有する者」は減少しているが、指標 14「40 歳代における進行した歯周炎を有する者」・指標 15「40 歳の未処置歯を有する者」・指標 17「60 歳代における進行した歯周炎を有する者」・指標 18「60 歳の未処置歯を有する者」は減少していない。また、節目年齢を対象とした歯周病検診の受診率は、微増しているものの 1%未満であり、受診勧奨による歯周病の予防、早期発見、定期的な歯科健診による継続的な口腔管理の推進が必要である。
- (2) 指標 21「定期検診を受ける者」、指標 22「口の健康と喫煙の関係について知っている者」は、基準値から 2 倍以上増加しており、引き続き関係団体や企業等との連携による歯と口腔の健康づくりに関する環境整備や、健康意識の醸成に取り組む必要がある。

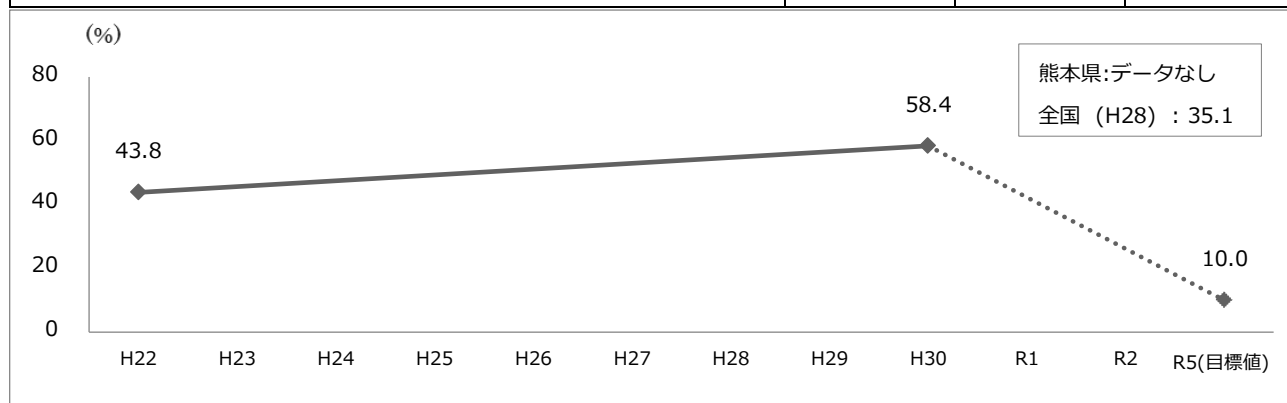


出典：【熊本市】歯たちの健診 【国】歯科疾患実態調査



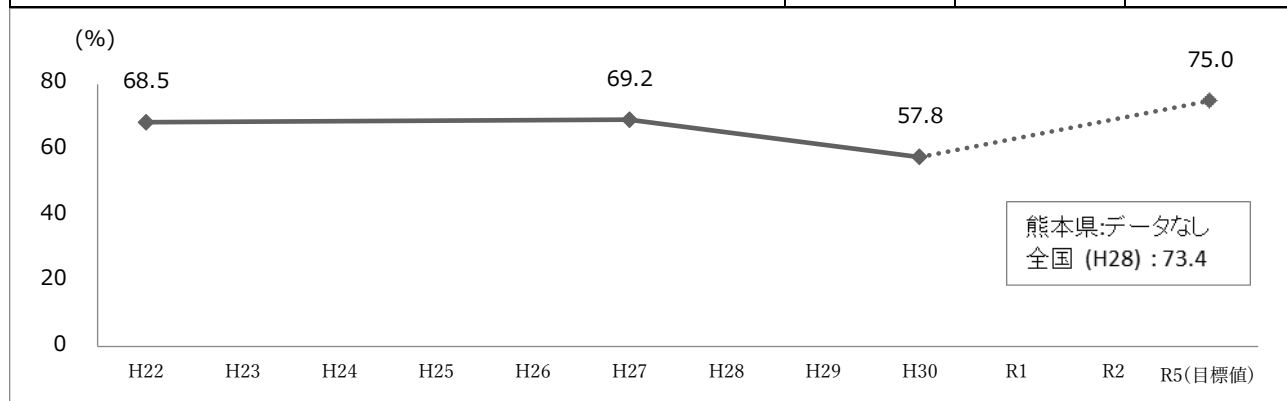
出典：【熊本市】成人歯科健診 【熊本県】熊本県歯科保健実態調査 【国】歯科疾患実態調査

指標 15	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
40 歳の未処置歯を有する者の減少	43.8%	58.4%	10.0%



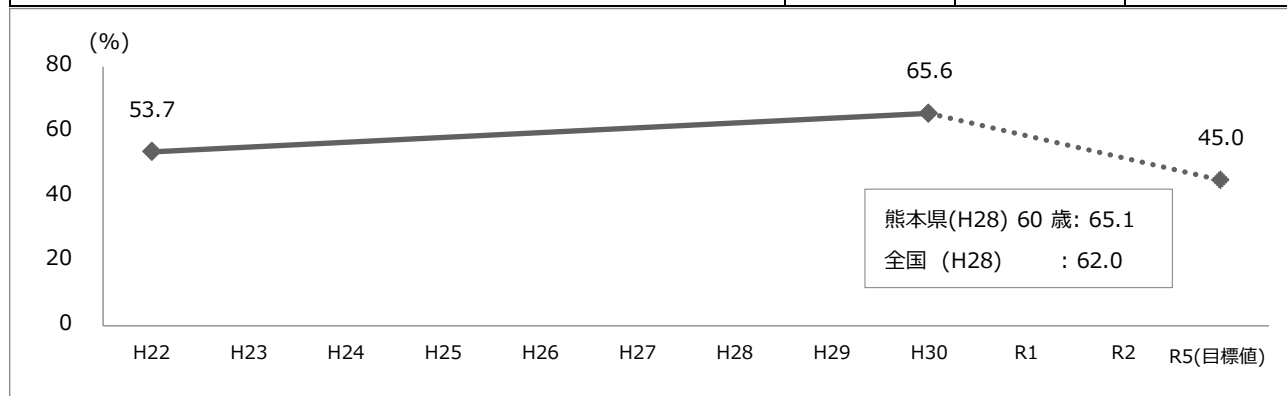
出典：【熊本市】成人歯科健診 【国】歯科疾患実態調査

指標 16	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
40 歳で喪失歯のない者の増加	68.5%	57.8%	75.0%



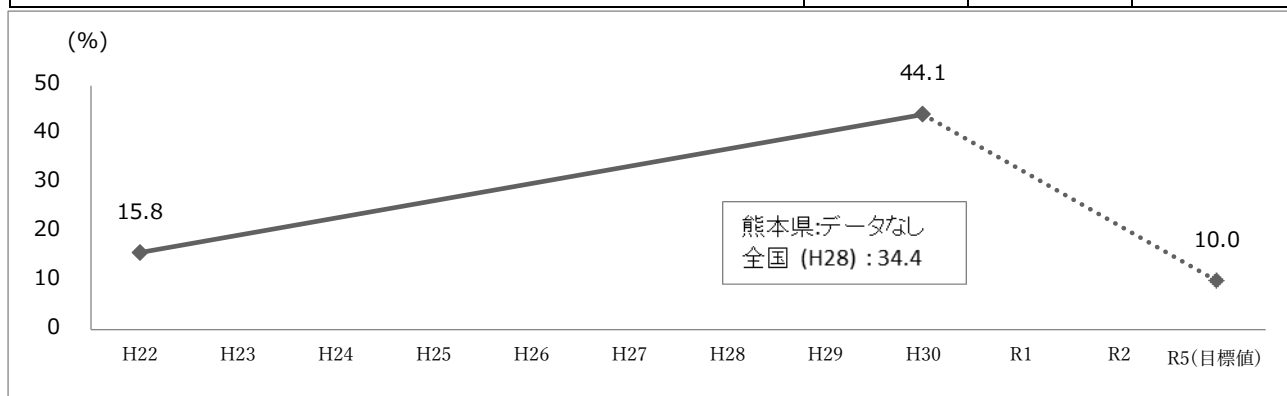
出典：【熊本市】H22 成人歯科健診 H27,H30 健康くまもと 21 市民アンケート 【国】歯科疾患実態調査

指標 17	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
60 歳代における進行した歯周炎を有する者の減少	53.7%	65.6%	45.0%



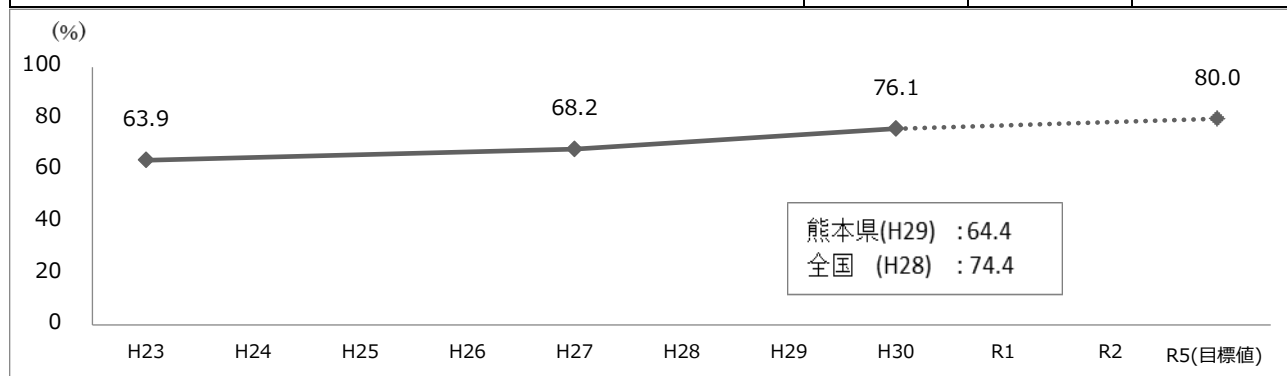
出典：【熊本市】成人歯科健診 【熊本県】熊本県歯科保健実態調査 【国】歯科疾患実態調査

指標 18	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
60歳の未処置歯を有する者の減少	15.8%	44.1%	10.0%



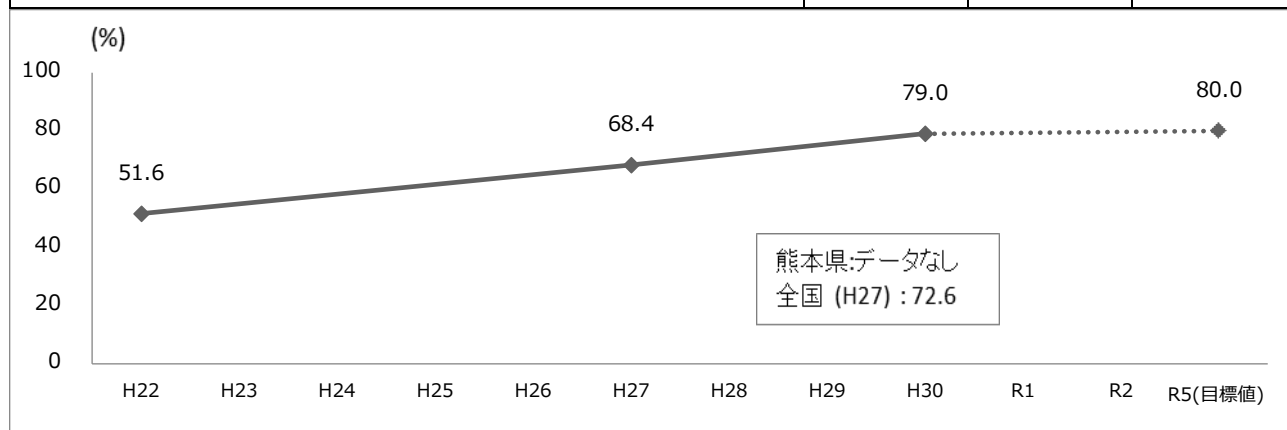
出典：【熊本市】成人歯科健診 【国】歯科疾患実態調査

指標 19	H23 基準値	H30 実績値	R5 目標値
60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の増加	63.9%	76.1%	80.0%



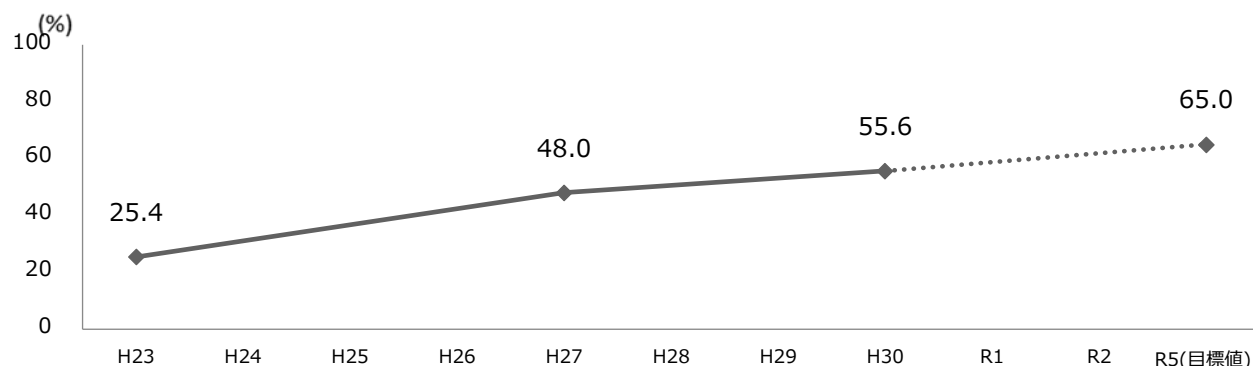
出典：【熊本市】健康くまもと 21 市民アンケート 【熊本県】熊本県健康・食生活に関する調査 【国】歯科疾患実態調査

指標 20	H22 基準値	H30 実績値	R5 目標値
60歳代における咀嚼良好者の増加	51.6%	79.0%	80.0%



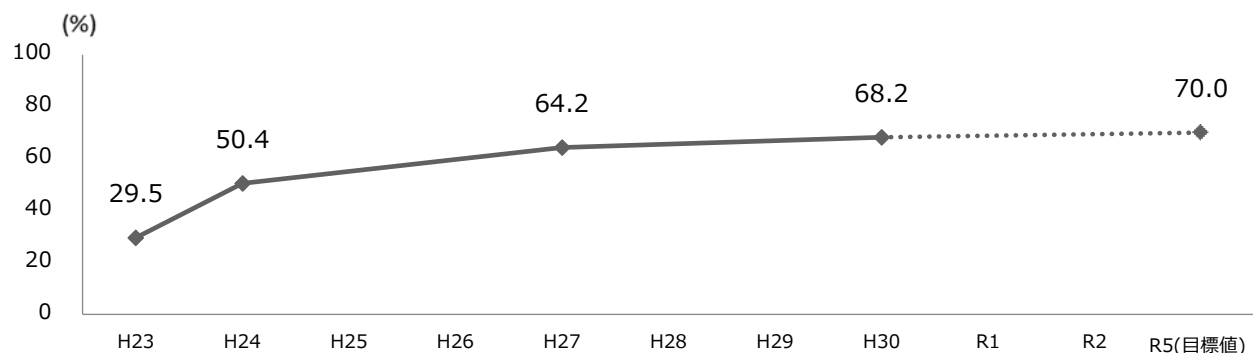
出典：【熊本市】H22 成人歯科健診 H27、H30 健康くまもと 21 市民アンケート 【国】国民健康・栄養調査

指標 21	H23 基準値	H30 実績値	R5 目標値
定期検診を受ける者の増加	25.4%	55.6%	65.0%



出典：健康くまもと 21 市民アンケート

指標 22	H23 基準値	H30 実績値	R5 目標値
口の健康と喫煙の関係について知っている者の増加	29.5%	68.2%	70.0%



出典：健康くまもと 21 市民アンケート

【令和 3 年度の進捗】

《 行政 》

	主な取組	令和 3 年度 内容	実績	担当課
1	歯たちの健診	生活習慣が不規則になる時期でもある大学生等を対象に、歯科疾患の予防と口腔衛生意識の向上を目指し、学園祭や区役所実習の学生に対して歯科健診や歯科健康相談を実施	中止 (コロナ)	各区 保健子ども課
2	歯周病検診	有病者率が高く歯の喪失をもたらす主要な原因疾患である歯周病の早期発見を促し、かかりつけ歯科医の推進を図る ・対象：40・41 歳、60・61 歳 ※コロナ禍において中止期間があり未受診者がいることから、41・61 歳を追加し実施 ・内容：歯・歯肉の状態、歯列・かみ合わせ、顎関節、口腔粘膜、口腔清掃状態 ※受診率向上の取組 受診勧奨チラシを各区役所で配布。 大腸がんの個別受診勧奨に併記 市政だより・SNS 等を活用した周知	40・41 歳 34 人 60・61 歳 26 人 計 60 人	健康づくり 推進課

3	歯科 健康教育	【生活習慣病予防教室】4回 41人 C K D（慢性腎臓病）や糖尿病予防教室参加者へ歯科疾患との 関連について歯科健康教育、口腔ケア啓発等を実施 【歯科健康教室：8020教室】10回 192人 歯科疾患の予防等について講話・口腔ケア啓発等を実施	14回 233人	各区 保健子ども課
4	歯科 健康相談	歯と口腔の健康づくりや定期歯科健診受診を推進するため、歯 科健康相談を実施	15回 27人	
5	健康ポイント 事業	日々の健康づくり活動を行うことでポイントが付与され、ポイ ントが貯まると特典を受けることができるスマートフォン専用 アプリ「もっと健康！げんき！アップ くまもと」において、歯 科健診をポイント対象としている。 対象：定期歯科健診、歯周病検診、後期高齢者歯科口腔健診 内容：40ポイント/回（年3回まで付与）	ポイント獲得 延 2,811人	健康づくり 推進課

◆歯周病検診の実施状況（事業開始：令和元年 10 月）

	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
対象年齢	40 歳、60 歳	40 歳(41 歳)、 60 歳(61 歳)※	40 歳(41 歳)、 60 歳(61 歳)※	40 歳、50 歳、 60 歳、70 歳
受診実績・受診率	5 人(0.03%)	47 人(0.12%)	60 人(0.16%)	7 人(7 月時点)
検査結果（要精密者率）	3 人(60.0%)	24 人(51.1%)	47 人(78.3%)	—

※令和2・3年度は、新型コロナ経過措置で前年対象者（41 歳・61 歳）も対象。

《 関係団体・機関 》

	令和3年度 内容	実績	団体
1	歯周病検診事業の実施	60 人	熊本市 歯科医師会
2	歯たちの健診事業への協力	中止 (コロナ)	熊本市 歯科医師会
3	【まちの保健室における健康相談】 県内 8 か所（市内 2 か所）で健康相談時に、禁煙や口腔の健康について指導	市内 7 回実施	熊本県 看護協会
4	【協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラム事業】 歯科医師会と連携し、企業の職域対象に歯科健診プログラムにおいて生活習慣病 予防を通して全身の健康づくりに効果的な歯科保健指導を実施 対象：事業所職員 内容：咬合力測定・歯科保健指導	4 回 38 人 3 ヶ所	全国健康保険 協会熊本支部 熊本県 歯科衛生士会
5	【熊本県職員歯科健康診断】 歯科医師による検診結果に基づき、受診者に説明・指導等を実施	4 回 102 人	熊本県 歯科衛生士会
6	処方薬の口腔内や歯、顎骨への影響を説明、発見に努めるとともに、必要に応じて 処方疑義照会を行う。	各薬局にて 実施	熊本市 薬剤師会
7	【情報提供】 地域や職場などにおいて歯と口腔の健康づくりに関する情報などを提供	13 回 155 人	熊本市 8020 健康 づくりの会
8	常任理事会で（30～50 歳代）、歯科健診を定期的に受けることや 8020 運動の告 知等を実施。歯周病等を意識的に防ぐためには、定期的に健診を受診する必要が あることを啓発	1 回 20 人	熊本市 PTA 協議会

【令和4年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和4年度 予定	課・団体
1	【歯周病検診の受診率向上】 ・対象年齢を50歳と70歳に拡大し、40・50・60・70歳の節目年齢を対象に実施 ・受診率向上への取組 - 個別受診勧奨：特定健診受診勧奨の個別通知において周知（R3年度から） 大腸がん冬季検診個別受診勧奨において周知 ・40歳の対象者全員に個別受診勧奨通知を発送。（7月末に実施） - チラシの配布：歯科医療機関 - 広報：市政だより、テレビ・ラジオ放送	健康づくり推進課
2	【南区まちづくり推進事業】 働き世代である企業従事者を対象に歯周病やむし歯予防を中心とした口腔ケアに関する啓発を行い、企業従事者の口腔衛生に対する関心を高め、ひいては区民全体の歯や口の健康づくりの活性化を図る啓発事業を実施。 対象：九州旅客鉄道株式会社熊本総合車両所職員 約100名（8月予定）、他1か所 内容：歯周病・むし歯予防の講話、口腔ケア体験等の実施	南区保健子ども課
3	【歯周病検診の受診勧奨】 対象者：国保加入者40歳から74歳 約10万人 特定健康診査受診券発送時の同封チラシに歯周病検診・後期高齢者歯科健診について掲載	国保年金課
4	・歯たちの健診事業は新型コロナウイルス感染状況をみて実施 ・歯周病検診事業については、例年どおり実施	熊本市歯科医師会
5	【協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラム事業】 企業の職域対象に歯科健診プログラムにおいて生活習慣病予防を通して全身の健康づくりに効果的な歯科保健指導を実施	全国健康保険協会熊本支部
6	協会けんぽスモールチェンジ生活支援プログラム事業等への協力	熊本県歯科衛生士会
7	【まちの保健室における健康相談】 県内8か所（市内2か所）で健康相談時に、禁煙や口腔の健康について指導 ・歯科衛生士によるミニ講話と健康相談を8/20開催予定 ・希望者に対して歯科・口腔ケア指導を随時実施	熊本県看護協会
8	【再掲】熊本県栄養士会情報誌（毎年1回発行）にて、「歯と栄養」をテーマとして作成し、市民へ情報を発信する。成人期の食事のポイントやレシピを掲載予定。	熊本県栄養士会
9	子育て世代で社会の中核を担う私たちの健康を継続するため、常任理事会で歯科健診を定期的に受けることや8020運動の告知等を継続して実施。 熊本市の公式LINE等を周知し、熊本市が取り組む健康についての啓発活動に協力	熊本市PTA協議会

【今後の方向性】

- （1）地域や企業と連携し、むし歯や歯周病予防のための生活習慣の改善や定期歯科健診による継続的な口腔管理を行う市民の増加を図る。
- （2）健康日本21において提言されているように、喫煙が歯周病のリスク因子となることや自覚症状のない働き世代へ歯周病検診を受診することの意義を保健医療関係者と協力して啓発していく。

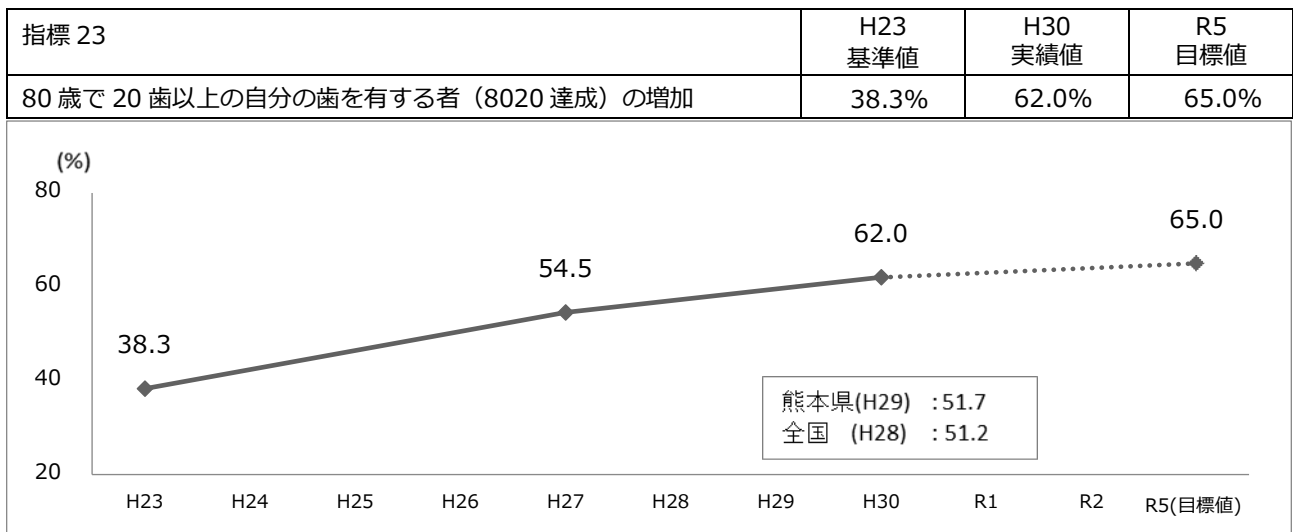
高齢期 指標 23～24

【目標】

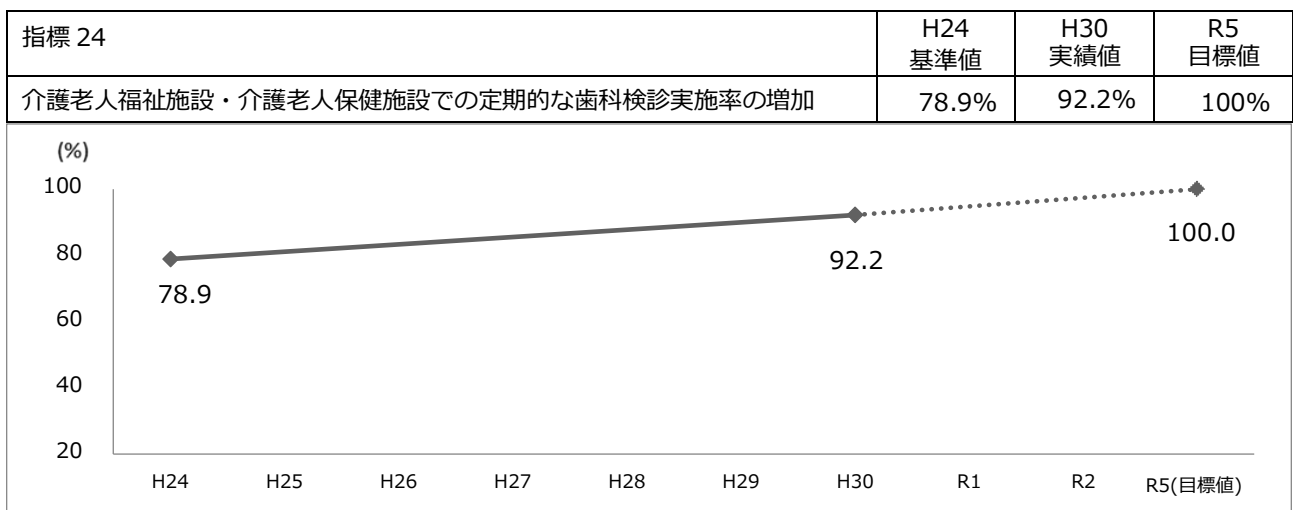
歯の喪失等による口腔の機能低下を防止し、「食えること」を通じて積極的に社会活動ができるように支援する。

【現状と課題】

- (1) 後期高齢者の口腔機能低下による誤嚥性肺炎や生活習慣病等の重症化予防を図るため、歯・歯肉の状態、口腔内の衛生状態や咀嚼を含む口腔機能をチェックすることにより、被保険者の健康の保持増進を図ることを目的に後期高齢者歯科口腔健診を実施している。受診率は県平均 1.58% に比べ、0.83% と低い状況である。
- (2) 後期高齢者歯科口腔健診の分析結果から、自分の歯が 20 本以上残っている人はそうでない人に比べ、年間医療費が 89,127 円少なかった。高齢になっても豊かな食事や会話を楽しめるよう歯の喪失防止とオーラルフレイルの予防に関する啓発に関係機関・団体と行政が協力して啓発していく必要がある。



【熊本市】健康くまもと 21 市民アンケート 【熊本県】熊本県健康・食生活に関する調査 【国】歯科疾患実態調査



出典：【熊本市】介護老人福祉施設・介護老人保健施設アンケート調査

【令和3年度の進捗】

《 行政 》

	主な取組	令和3年度 内容	実績	担当課
1	8020表彰	満80歳以上で自分の歯を20本以上有する市民（8020達成者）を表彰するため事前審査を実施。コロナ禍のため表彰式は開催せず表彰状を送付	43人	健康づくり推進課 各区 保健子ども課
2	歯科健康教育（8020教室）	高齢者を対象に地域において、口腔機能向上や口腔ケアの必要性について歯科健康教育を実施	14回 233人	各区 保健子ども課
3	歯科健康相談	高齢者を対象とした歯科健康相談を実施	16回 44人	
4	介護予防に関する研修	南区管内地域包括支援センター職員やケアマネジャー等を対象とした研修会で、オーラルフレイル予防やアセスメントの手法等について講話を実施。（うち1回はTeamsによる）	2回 54人	南区 保健子ども課
5	後期高齢者歯科口腔健康診査	後期高齢者の口腔機能・生活習慣病・誤嚥性肺炎等の疾患予防、改善を図るため、県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け実施 ※H28年6月開始 ・対象：75歳以上 ・内容：歯・歯肉の状態、口腔内の衛生状態、嚥下機能や口腔乾燥を含む口腔機能をチェック ・実施医療機関：307箇所 ※受診率向上の取組 ・前年度受診者への受診券の送付し、継続受診を図る ・新規加入者へ受診勧奨（75歳到達者へ受診券を発送） ・普及啓発：ラジオ放送による周知	734人 0.83% (R4年5月末 暫定値)	国保年金課
6	フレイル予防	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業での健康教育において体力測定および高齢者の質問票を活用し、フレイル状態の把握、また、フレイル予防に関する講話を実施（オーラルフレイルを含む）。	15カ所 46回 延773人	国保年金課
7	短期集中予防サービス（口腔機能向上プログラム）	事業所への委託により「運動機能向上」「口腔機能向上」「栄養改善」の各プログラムを提供する短期集中予防サービスを実施。 （全事業所数:23カ所、利用回数916回、151人）	委託事業所 6事業所 利用回数12回 利用者4人	高齢福祉課
8	介護保険認定審査会	介護保険法第27条及び32条の規定に基づき、要介護（要支援）認定を受けようとする被保険者の要介護度の審査判定（介護認定審査会）を実施 審査会は38合議体、1合議体6～7名の委員で構成。 保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者として歯科医師5名歯科衛生士3名を委嘱。	749回	介護保険課
9	自立支援型地域ケア会議	介護保険法第115条の45第2項第3号及び第115条48の規定に基づき実施する地域ケア会議において、自立支援型ケアマネジメントの視点で専門職として助言を実施 構成委員は保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者として歯科医師又は歯科衛生士を含む。	507回	
10	出前講座	「舌を鍛えて健康長寿～ベロタッチ健康法～」 実施団体：口からの健康づくり歯っぴーかむカム	2回 24人	生涯学習課

《 関係団体・機関 》

	令和3年度 内容	実績	団体
1	【8020表彰】 8020表彰について、会員へ周知徹底し対象者の推薦を行うとともに、会員歯科医院において事前審査を実施する。	実施	熊本市 歯科医師会
2	【自立支援型地域ケア会議】 専門職として歯科医師・歯科衛生士による助言を行う。	ささえりあ 11ヶ所 79回	熊本市地域包括 支援センター連 絡協議会 熊本市 歯科医師会 熊本県 歯科衛生士会
3	【施設対象の講習会】 施設職員を対象に講習会を開催し、義歯の種類、取り扱い方やメンテナンスの方法等を説明	1回 10名	熊本市 歯科技工士会
4	【まちの保健室における健康相談】再掲 県内8か所（市内2か所）で健康相談時に、禁煙や口腔の健康について指導	市内7回	熊本県 看護協会
5	【看護職に対する研修】12/18 摂食・嚥下障害への支援と口腔ケアについて看護職を対象に研修会を開催	1カ所 36人	
6	処方薬の口腔内や歯、顎骨への影響を説明、発見に努めるとともに、必要に応じて処方の疑義照会を行う	各薬局にて 実施	熊本市 薬剤師会
7	【短期集中サービス】 栄養改善プログラムにおいて訪問栄養指導	実施	熊本県 栄養士会
8	【口腔ケア等の啓発】 ・リハ職派遣事業で言語聴覚士に依頼し、口腔ケアに関する啓発を実施。 ・高齢者サロン等で口腔ケア等の必要性を啓発	ささえりあ 全27ヶ所	熊本市地域包括 支援センター連 絡協議会
9	【高齢者の健康・食生活の支援活動】 高齢者サロン等と連携し、高齢者を対象にフレイル予防のための食生活オーラルフレイルについての啓発を実施した。	2,381回 4,832人	熊本市 食生活改善 推進員協議会
10	【世代別に取り組む生活習慣病予防のためのスキルアップ事業（高齢世代）】 自宅に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対して、フレイル予防のための食生活やオーラルフレイル予防についてのお話を実施	20人 個別訪問 10人	
11	【やさしい在宅介護食教室】 やさしい在宅介護食教室のテキストを使用し、家庭でできる介護食の学習をおこなった。	19人	
12	【唾液腺マッサージやお口の体操】 高齢者サロンや老人会等において、お口の機能を高める口腔体操を実施	64回 1,291人	熊本市 8020健康 づくりの会

【令和４年度の取組予定】
《 行政・団体等 》

	令和４年度 予定	課・団体
1	【８０２０表彰】 事前審査を市歯科医師会会員歯科診療所または区役所保健子ども課において実施。 感染拡大防止のため表彰式は開催せず、表彰状は郵送する。	熊本市歯科医師会 各区保健子ども課 健康づくり推進課
2	後期高齢者歯科口腔健診事業を継続実施するとともに、事業の周知徹底を図り受診率の向上を図る。	熊本市 歯科医師会 国保年金課
3	オーラルフレイル予防や口腔機能向上に関する啓発を高齢者サロン等において実施する	各区保健子ども課
4	【フレイル予防対策事業（新規）】 ・後期高齢者健診結果（質問票）より、オーラルフレイルのリスクが高い方へ、介護予防事業の紹介を行い、地域包括支援センターと連携し、必要な方へサービスの利用を促す。 ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施による地域での健康教育等で健診勧奨を図る。	国保年金課
5	令和３年度の取り組みに加え、後期高齢者健診の結果により、口腔機能低下が疑われる者に対して、短期集中予防サービスの利用を勧奨するなど、他課と連携しハイリスク者へのアプローチを実施する。	高齢福祉課
6	・ケアマネジャー等を対象にオーラルフレイルに関する研修会の実施を予定 ・介護認定審査会、自立支援型地域ケア会議を継続して開催	介護保険課
7	庁内各課および関係機関が実施する講座について、一覧で周知し、生涯学習を通して歯と口腔の健康づくりに取り組む	生涯学習課
8	・感染対策を講じながら圏域で高齢者サロンを継続実施。 ・高齢者サロンにおいて、「かみかみ体操」による口腔運動に取り組み、口腔ケアへの意識を高めていく。 ・口腔ケア等について、リハ職派遣事業において言語聴覚士による講話が好評だったため、今後も積極的に実施する ・コロナ禍でマスクをつけての生活が常態化しており、唾液の減少、口臭、歯肉炎等、口腔ケアの低下が懸念される。今後、口腔ケアの必要性を自立支援地域ケア会議等で圏域の言語聴覚士や歯科衛生士より助言指導する。また、通所サービスでの口腔機能向上の推進や短期集中口腔機能向上事業の活用を図る。 ・定期的な歯科検診等の推進により、歯や口腔ケアの健康が引いてはフレイル予防や認知症を予防する事を介護保険利用者や地域住民へ周知していく。	熊本市地域包括支援 センター 連絡協議会
9	①【まちの保健室における健康相談】 ・歯科衛生士によるミニ講話と健康相談（8/20 日開催予定） ・希望者に対して歯科・口腔ケア指導（開催時随時） ②摂食・嚥下障害への支援と口腔ケアについて看護職対象に研修会の開催 ③看護職および医療従事者を対象としたシンポジウム「多職種で取り組むフレイル予防」の中で歯科衛生士の発表を予定（8/6 開催予定）	熊本県 看護協会
10	【施設対象の講習会】年３回開催予定 施設職員を対象に講習会を開催し、義歯の種類、取り扱い方やメンテナンスの方法等を説明	熊本市 歯科技工士会

【今後の方向性】

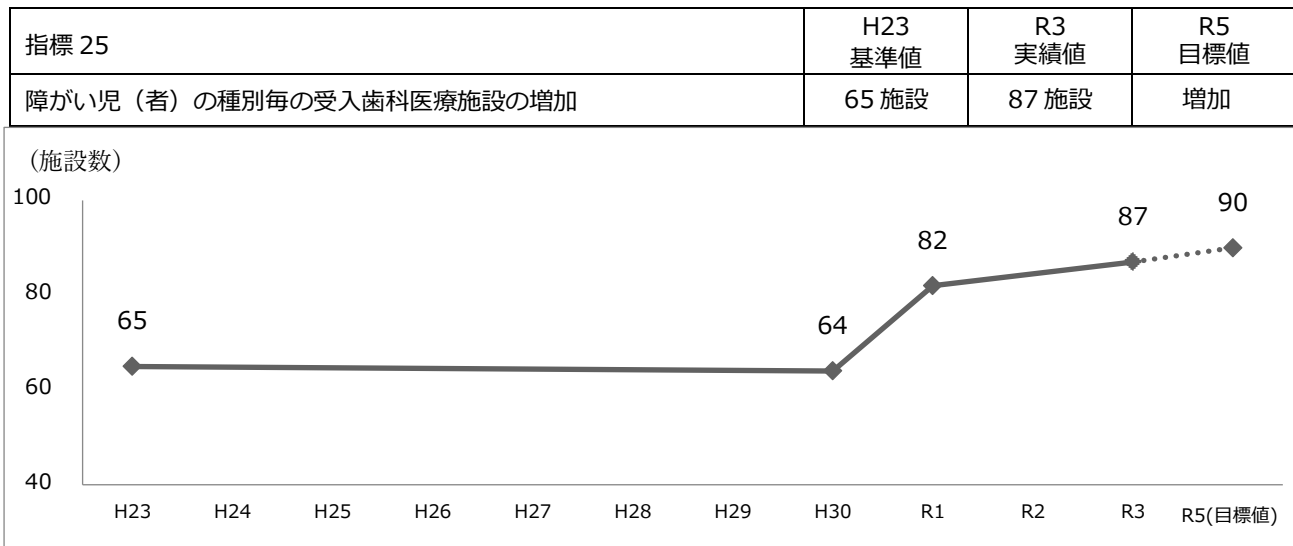
- （１） 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」に伴い、高齢者の「通いの場（サロン）」や地域包括支援センターを拠点に、オーラルフレイルや歯周病予防に関する啓発を強化し、後期高齢者歯科口腔健診の受診率の向上を図る。また、歯科口腔健診でオーラルフレイルを早期に発見し、歯科治療や口腔機能訓練を行うことで全身のフレイル予防につなげ、健康寿命の延伸を図る。

第3次熊本市歯科保健基本計画 令和3年度の進捗と令和4年度取組について

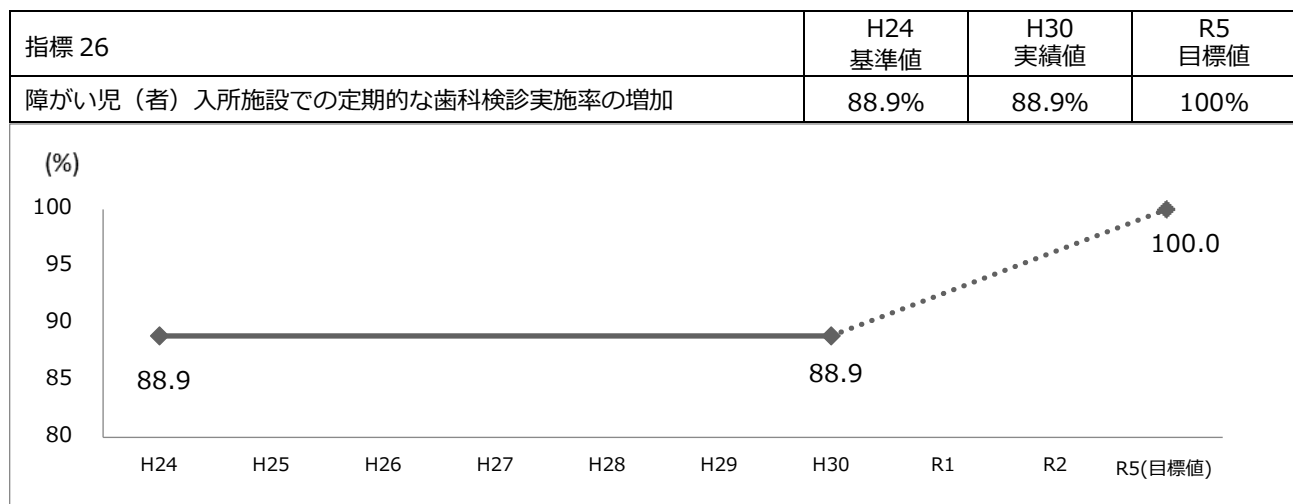
「歯と口腔の健康づくりを支え・守るための環境づくり」について 指標 25～27

【現状と課題】

- (1) 指標 27「8020 推進員の育成数(累計)」は目標を達成したものの、8020 推進員のいない校区や少ない校区がある。校区を中心とした地域活動を展開していくためには、各校区に 8020 推進員を配置することが望まれる。コロナ禍においても、市民が安心して受講できるよう自宅学習による受講や感染防止対策を講じて開催するなど工夫を行うとともに、地域の関係組織に働きかけ、育成講座の周知を図る必要がある。
- (2) 指標 25 障がい児（者）の種別毎の受入歯科医療施設は、87 施設に増加した。
- (3) 災害時は口腔衛生の悪化や栄養不足、疲労などによる免疫力の低下から誤嚥性肺炎や口内炎など、お口のトラブルが起きやすくなる。災害時の備えとして、平時から口腔ケア用品を準備し、日頃から歯やお口のケアを欠かさず、口腔内の環境を整えておくことが必要である。

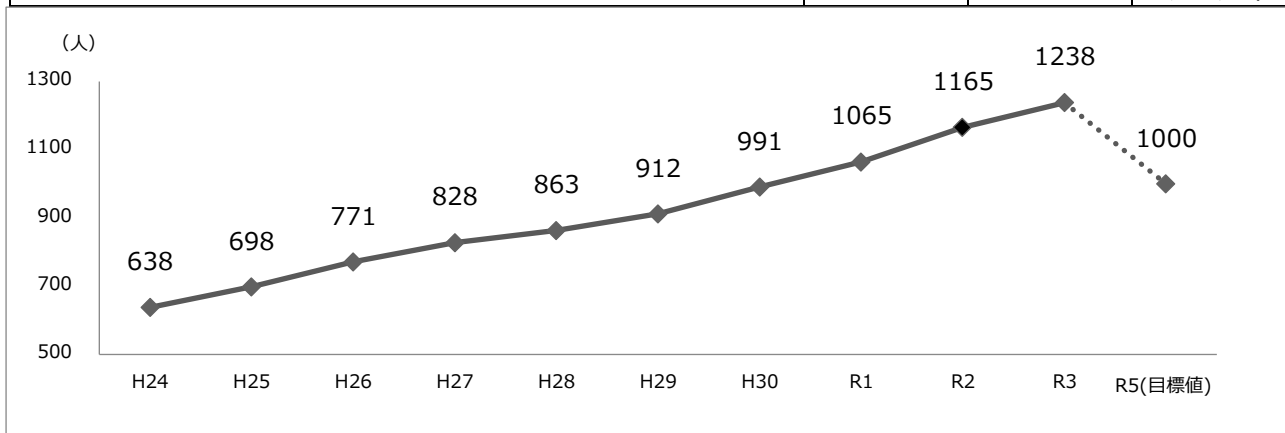


出典：【熊本市】H30 障がい児(者)入所施設アンケート調査、 R1～熊本県障がい者支援課調べ



出典：【熊本市】障がい児(者)入所施設アンケート調査

指標 27	H24 基準値	R3 実績値	R5 目標値
8020推進員の育成数の増加（累計）	638 人	1,238 人	1,000 人 (R元年度 達成済み)



出典：【熊本市】8020推進員育成事業

【令和3年度の進捗】

《 行政 》

	主な取組	令和3度 内容	実績	担当課
1	8020推進員育成事業	8020推進員育成講座を実施し、8020推進員を育成	受講生 73 人 修了生 73 人	各区 保健子ども課 健康づくり 推進課
2	8020推進員活動支援	8020推進員に口腔ケアや歯科疾患予防のアドバイス等を行い、地域での歯と口腔の健康づくり啓発活動の支援を実施	379 回 1,711 人	各区 保健子ども課 健康づくり 推進課
3	8020推進員スキルアップ研修会	目的：知識と技能向上と推進員同士の連携を図るため 対象：8020推進員育成講座受講生及び8020健康づくりの会員等	11 回 173 人	
4	歯と口の健康週間	毎年6月の「歯と口の健康週間」や「歯の祭典」において、地域住民を対象に、歯科保健普及や災害時の口腔ケアの啓発等の活動を実施 ※「歯の祭典」：中止	67 回 26,35 人	
5	熊本市民健康フェスティバル	・健康づくりに関する様々な情報を発信し、市民の健康づくりに寄与することを目的に保健医療福祉関係団体と開催 ・歯と口腔の健康づくりに関して、歯周病検診の案内、災害の備え、8020推進員の活動紹介を実施	中止 (コロナ)	健康づくり 推進課
6	熊本県歯科保健状況調査	目的：対象施設の歯科保健状況を把握し施策に反映させるため、県の調査に協力 対象：保育所、幼稚園・認定こども園、市立小学校・中学校・高等学校・特別支援学校、熊本大学附属幼稚園・小中学校	362 施設	
7	校区単位の健康まちづくりや地域のイベント等での啓発	校区単位の健康まちづくりイベントや地域のイベント等において、歯科健康相談等を実施し、歯科保健に関する啓発を実施	2 回 326 人	西区 保健子ども課

8	障がい児及び発達に不安のある児のむし歯予防事業 (歯っぴー事業)	【「歯の健康ノート」の発行】 パンフレットを各掲示板に掲載し窓口にも設置。相談時、必要に応じて保護者へ情報提供を行う。 センター利用者に子どもの歯と口腔の健康について意識向上の啓発及び必要に応じて「歯っぴー事業」を説明し希望者に発行	0 件 (コロナ)	子ども発達支援センター
9		【歯っぴー事業】 身体障害者手帳・療育手帳や「歯の健康ノート」を保持する未就学児を対象として、口腔ケア、フッ化物塗布や口腔衛生指導を実施	22 回 延 78 人	各区 保健子ども課
10	障がい者通所施設での歯科健康教育	障がい者通所施設において、利用者や施設職員に対し口腔ケアの必要性や口腔機能に関する歯科健康教育を実施	2 回 69 人	南区 保健子ども課
11	児童発達支援サービス事業	児童発達支援サービスを利用者に対する歯科相談を実施 (※保育所等でのデイサービス)	6 回 10 人	中央区 保健子ども課
12	障がい児(者)口腔ケア地域リーダー育成事業	障がい児(者)が身近な地域で、スムーズな歯科受診・診療が促進されるよう地域の歯科医師及び歯科衛生士が、障がいの状態に応じた診療の知識の習得や、障がい者施設の実施実習により技術の習得を実施	中止 (コロナ)	障がい保健福祉課
13	適切な医療体制の確立	熊本県歯科医師会立口腔保健センターにおける「障がい児(者) 歯科医療提供体制強化事業」への支援	242 日 2,987 件	医療政策課
14	歯科救急医療対策	【在宅歯科当番医制事業】 熊本市歯科医師会へ委託 いつでも安心して適切な歯科診療を受けることができるよう在宅歯科当番医による休日夜間の歯科診療体制づくり ・通常初期救急体制:休日準夜間 (18:00~23:00) の診療 ・年末年始初期救急体制:12/30~1/3 に 24 時間の診療	【通常初期】 66 日 102 件 【年末年始】 5 日 310 件	
15	南区復興支援！歯と口の健康づくり事業	白藤災害公営住宅集会所において、歯科および栄養講話、災害時における口腔ケア、バッククッキング等を実施 協力団体：8 0 2 0 健康づくりの会南支部	2 回 延 50 人	南区 保健子ども課
16	災害の備えに対する啓発	【西区】 子育てネットワーク等と協働による地域防災講習会を実施	1 回 18 人	西区 保健子ども課
17	ホームページ等を活用した啓発	ホームページのほか、LINE やInstagram、Facebook 等を活用した啓発を実施	実施	各区 保健子ども課

《 関係団体・機関 》

	令和3年度 内容	実績	団体
1	・歯と口の健康週間事業期間での無料歯科健診 20 名 ・歯と口の健康週間における催事【歯の祭典】は中止 (コロナ)	20 名	熊本市 歯科医師会
2	【熊本市民健康フェスティバル】 歯科相談を実施	中止 (コロナ)	
3	【8 0 2 0 推進員への支援】 補助金交付・8 0 2 0 推進員育成講座修了証書交付式での講演	実施	
4	HappyLife 歯科啓発カードによる無料歯科健診の実施	21 件	
5	【マスコミによる啓発】 「熊本シティ FM 健康サロン」への出演。歯と口の健康に関する啓発を実施	2 回	熊本県 歯科衛生士会

6	訪問看護の際に、口腔ケア並びに保健指導を実施（全世代の対象者に実施）	随時対応	熊本県 看護協会
7	【歯の祭典・熊本市民健康フェスティバル】 石膏フィギアを通した歯の大切さを啓発し、歯科技工士の仕事について周知	中止 (コロナ)	熊本市 歯科技工士会
8	【牛乳飲用消費拡大事業】11/26 開催 骨や歯に良い牛乳を使った料理の普及のため牛乳、乳製品を使ったオリジナルレシ ピの開発	8 人	熊本市 食生活改善 推進員協議会
9	【8020 推進員育成講座への支援やスキルアップ研修会の開催】 地域における 8020 運動の推進を図る。	13 回	熊本市 8020 健康 づくりの会
10	「噛むことの大切さ」を伝えるために講演会の動画を YouTube で配信し、市民に 対する歯科啓発を行った。 また、会で歯科啓発リーフレットを作成し、そこに歯科保健情報のQRコードを掲 載し、コロナ禍においても歯と口の健康づくりに関する情報提供の充実が図れるよ うな取り組みを行った。リーフレットはイベントや地域、小学校等に配布した。	実施	

【令和4年度の取組予定】

《 行政・団体等 》

	令和4年度 予定	課・団体
1	【「8020 推進員育成講座」の開催及び受講勧奨】 自治会等地域の関係組織に働き掛け、8020 推進員育成講座の受講勧奨を8020 推進員と協 働で実施。8020 推進員育成講座については、自宅学習を含め実施	各区 保健子ども課 熊本市 8020 健康 づくりの会
2	毎月8日「いい歯の日」に歯や口腔の健康づくりに関する情報をLINE・Twitter 等や健康ア プリを活用して広く周知し、歯の健康に対する関心を高める。	健康づくり 推進課
3	【地域歯科保健研修会】 関係機関・団体と行政が、熊本市の子どものむし歯の現状や課題等について共有し、子どもの むし歯予防に関する取組の必要性について理解を深める機会とするため、研修会を開催する。	
4	【広報・啓発活動】 ・大規模商業施設において、むし歯予防や歯周病予防に関する啓発を実施 ・子どものむし歯予防について市政広報番組「市っとるね マナブくん」にて情報を発信。 放映後は、インターネット（YouTube）で動画を閲覧	
5	【歯科疾患実態調査】 国の歯科保健状況を把握し、歯科口腔保健の推進に関する基本的事項及び健康日本21（第二 次）において設定した目標の評価等、今後の歯科保健医療対策を推進するための基礎資料を得 ることを目的として調査を実施	
6	口腔ケアの重要性の啓発や健康ポイント事業の周知を行うとともに、歯科保健意識の向上を図 る	各区 保健子ども課
7	【歯っぴー39チャレンジの推進】 あらゆる機会を捉えて「歯っぴー39チャレンジ」について啓発する	関係各課 関係機関
8	【災害の備えに対する啓発】 幼児健診、育児サークルや地域イベント等を活用して災害弱者である子どもや妊産婦に対する 防災技術や災害時における健康管理・疾病予防（感染症予防・誤嚥性肺炎予防と口腔ケア等） に関する啓発を実施	西区 保健子ども課
9	【南区まちづくり推進事業】 地域の企業と連携し、働き世代である企業従事者を対象に歯周病予防に関する啓発を行う。ま た、政令市の中で子どものむし歯有病率が高い現状にあることから、子育て世代でもある企業 従事者にむし歯予防に関する啓発も併せて実施し、区民全体の歯や口の健康づくりの活性化を 図る。	南区 保健子ども課

10	【障がい児（者）口腔ケア地域リーダー育成事業】 感染拡大防止対策を講じたうえで口腔ケア地域リーダー育成事業実施予定	障がい保健 福祉課
11	【「歯っぴー事業」の周知】 相談時必要に応じて保護者へ情報を提供する。パンフレットを活用して歯の健康について説明 を行い意識向上を促していく。	子ども発達 支援センター
12	【8020推進員育成及び活動の支援】 8020推進員の育成・活動について周知に協力 【口腔ケア地域リーダー育成事業】 障がい児（者）入所施設での歯科健診等の実施	熊本市 歯科医師会
13	熊本県栄養士会情報誌（毎年1回発行）にて、「歯と栄養」をテーマとして作成・情報発信す る。乳幼児期、学童～成人期、老年期、3つのカテゴリーに分類し、各ステージに合わせた食 事のポイントとレシピを掲載予定。	熊本県 栄養士会
14	①訪問看護の際に、口腔内ケア並びに保健指導（全世代の対象者に実施） ②災害看護フォローアップ研修において、「（仮称）災害時の口腔ケア」について研修会の開催 （11/11 予定） ③熊本シティエフエム健康サロン 放送にて「口腔ケアの大切さ（仮題）」（11/30 予定）	熊本県 看護協会
15	市民に対する啓発周知のための資料配付等に協力	熊本市 PTA 協議会
16	リーフレットの増刷及び新たな啓発資料を作成し、広く市民に啓発を行う。	熊本市 8020 健康 づくりの会

【今後の方向性】

- (1) 8020推進員による地域活動の充実を図るため、地域の関係組織や団体等と連携協力し、新たな
人材の確保と地域活動に対する理解促進に努め、全校区に8020推進員の配置を目指す。
- (2) 熊本市歯と口腔の健康づくり推進条例の施行に伴い、市民・行政・団体等の役割を明らかにすると
ともに、協働を図りながら歯科保健の取組を強化する。